

鹿児島県立農業大学校並びに 社会福祉法人 旭生会 旭ヶ丘園（特別養護老人ホーム及びケアハウス等）の 所管事務調査報告

知名町議会は10月24日に日置市吹上町の鹿児島県立農業大学校及び翌日25日には鹿児島市平川町にある社会福祉法人 旭生会 旭ヶ丘園（特別養護老人ホーム及びケアハウス等）を訪問し、所管事務調査を行いました。

所管事務調査

鹿児島県立農業大学校【10月24日】

副校長 海田孝二郎先生の歓迎のあいさつ後、教修部長 井口寿郎先生より概要説明。
井口先生から～

農業大学校設置の目的、敷地面積（東京ドーム38個分の広さ）、養成部門として農学部
に野菜・花き・茶業・果樹の4科、畜産学部に肉用牛・酪農・養豚の3科、研究部門とし
て、農学部には農業研究科、畜産学部に畜産研究科を設けている。

本町の卒業生及び在校生は昭和54年度から本年度までの36年間で45名、本年度は農学部
野菜科1年生に1名・2年生に1名、及び畜産学部肉用牛科2年生に1名在籍しており沖
永良部出身者は毎々年度少ない状況にある。

県立農業大学校は、県内における農業を担う青年農業者の育成と地域農業振興に貢献で
きる実践的指導者等の育成に貢献している。特徴として実践教育、実習科目の充実（農家
留学研修）及び最新技術教育の実施（鹿大農学部との連携）。また、農業に係わる免許・
資格取得の多さ、経営管理能力の養成（経営診断・分析・マーケティング）、地域農業
調査及び指導者・リーダーとしての教育の実施等を行っている。

本大学校には学生寮（個室・冷暖房完備）、食事、学費の安さ等々、学業生活面におい
ても安心して生活できる環境にあるので本事務調査を機会に沖高校生や一般社会人の中
で農業に興味があり就農意欲のある方や将来公務員（農業関係）・農業団体（JA等）、農業
関連企業に就職希望の強い方に、本校進学を勧めていただきたい等々、農大教育の特徴等
について詳細に説明、これに対する質疑後、生徒が実践栽培している野菜等栽培ハウス棟
の視察、農業機械運転免許資格取得試験場や学生寮を視察しました。

